

市議会だより

GOJO

No.73

発行 五條市議会 編集 議会広報編集委員会

(南阿田町)

令和元年(2019年)11月1日



(山田町)



(東阿田町)



(久留野町)

令和元年五條市議会 第3回9月定例会の概要

令和元年五條市議会第3回9月定例会は、9月2日に開会、会期を26日までの25日間と決定し、初日に市長から市政の報告と提出議案の説明を受けました。

本定例会には、五條市森林環境基金条例の制定、五條市林産物加工施設条例の制定、平成30年度各会計歳入歳出決算認定、五條市監査委員の選任などの重要案件が市長から提案されました。

また、議会からは、9名の議員が一般質問を行うとともに、新たな過疎対策法の制定に関する意見書や高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書などが提出され、それぞれ慎重審議を行い、9月25日に議事が全部終了し閉会いたしました。

目次

一般質問	2～10ページ
表決結果と議決結果ほか	11～12ページ
総務文教常任委員会の報告ほか	13ページ
厚生建設常任委員会の報告ほか	14ページ
決算審査特別委員会の報告	15ページ
委員会視察の報告ほか	16ページ

台風15号及び19号によりお亡くなりになられたり、被害に遭われた方々に対し、哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。



窪 佳秀議員

Q: 就労している外国人の実態について

A: 企業誘致促進のなかの重要な課題で、現状を調査していく。

定例会では、議案に関係なく市の一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめています。

防災行政について

窪 台風10号で災害対策本部としての警戒体制の現状について伺う。

危機管理監

五條市南部に土砂災害警戒情報が発令され、大塔町に警戒レベル4避難勧告を発令し、午後10時40分に大塔町宇井地区・辻堂地区周辺に避難指示を発令し、避難を呼びかけた。

窪 山間部独特、大塔地域の避難指示発令に対し、今後教訓になったことを伺う。

危機管理監

山間地域の深夜での避難について、避難路の確保、避難所への移動手段等早めの避難の重要性を認識し、平素から居住、住民状況の把握も重要であると考える。

窪 居住する高齢者は過去に災害を多く経験し、これぐらいの雨であれば大丈夫だという意識がある。普段から避難に対する意識改革

が必要であるが、今後の対策を伺う。

危機管理監

早めに災害に対する情報収集し、戸別受信機の音量が聞こえる範囲での就寝を呼びかけるとともに、広報紙等で避難の重要性を周知してまいらる。

窪 大きな被害がないときほど、教訓を得ることができず。教訓を防災関係者に共有する体制も必要である。

就労している外国人の実態について

窪 外国人の住民登録の現状について伺う。

すこやか市民部長

9月1日現在、住民登録者数は347人である。

窪 3年前、5年前との比較について伺う。

すこやか市民部長

3年前より109人、5年前より152人増加している。

窪 現状の国籍別の人数について伺う。

すこやか市民部長

ベトナム97人、中国80人、ミャンマー66人、韓国41人、フィリピン21人等、合わせて19か国である。

窪

住民登録者数が就労者数とは限らないが、学生で働いている人、派遣会社等からのアルバイトの人は含まれず、実数はかなりの方が就労していると考ええる。

技能実習制度で就労が可能になり、今後、特定技能の在留資格にかかる制度の運用により更に就労者が増加すると考えるが、市が把握している就労者の現状について伺う。

都市整備部長

テクノパーク・ならでの就労者は、5社57人、他の事業所の把握はしていない。雇用する主な原因は、求人しても応募がなく、外国人を雇用しているとのことである。

窪

外国人を雇用しなくてはやっていけないと聞く。現在は正職員数の20分の1を雇用できる。更に増やす

となると、優良事業所として認定されれば、その3倍の人が雇用でき、そのために加点が必要で、地域に貢献することが一番の加点となることであった。市が外国人の雇用に対し、協力できることについて伺う。

都市整備部長

外国人就労者は多国籍であり、宗教、生活習慣等が違い、地域での生活で様々な問題がある。今後、地域で問題なく生活できる協力体制について検討するとともに、全体的に課題の把握に努める。

窪

人口が減少し、企業誘致を促進して行く中、今後雇用の問題が大きく立ち上がるかと考える。事業者の会社存続、外国人就労者についての考えを伺う。

市長

人口減少が続く、少子化に歯止めがかからない現状で、企業にとつて外国人就労者は必要不可欠となっている。今後、企業誘致を促進する中でも重要な課題である。外国人就労者の現状を調査していく。



Q: 市の日本一または日本有数のランキングについて

A: 柿の栽培面積1位、梅の栽培面積4位等があり、今後も日本一を作る取組も検討してまいりたい。伊谷賢司議員

マイ・タイムラインについて

伊谷 災害の教訓を踏まえ、国は防災意識社会への転換を進めているが、本市のマイ・タイムラインの普及の取組について伺う。
(※1)

危機管理監 市民にマイ・タイムラインについて周知し、活用していただくよう研究してまいりたい。

伊谷 具体的な地域防災力の向上が必要と考えるが、防災意識社会構築への具体的な取組を伺う。

危機管理監 地域や小・中学校の防災訓練等でハザードマップ等を利用した災害危険箇所の情報共有、防災士養成講座の受講促進、市の防災訓練に市民参加を促す取組の継続等、市民が主体的に行動できる社会づくりに取り組んでまいりたい。

森林経営管理制度について

伊谷 市の森林状況を伺う。

産業環境部長 森林面積は市の約74%、民有林の75%が11齢級(55年)以上の高

齢木である。

伊谷 今後の進め方を伺う。
産業環境部長 適切な運用に取り組んでまいりたい。

伊谷 農業はもとより林業も本市においては大変重要な資源政策であり、森林政策課の発足をお願いする。

マイクロプラスチック・ナノプラスチックを出さない取組について

伊谷 マイクロプラスチック問題への市の見解を伺う。
政策企画監 3R推進を行い、プラスチックの不適切な処分にならないように徹底してまいりたい。

市長 市内リサイクルメーカーと連携を密にし、研究してまいりたい。

ゼロ・ウェイストについて

伊谷 焼却場を持たない市となり、ごみ減量対策を推し進めるキーワードとして取り組むべきと思うが、市の見解を伺う。

産業環境部長 五條市版ゼロ・ウェイストに向け研究

してまいりたい。

「働き方改革」に伴う事務作業軽減について

伊谷 業務の効率化が課題となり、RPAによる業務の効率化が必要ではないかと思うが、市の見解を伺う。
(※2)

市長公室長 業務量の把握や予算措置などについて検証してまいりたい。

市の発展について

伊谷 市の日本一または日本有数のランキングの項目について伺う。

市長公室長 柿の栽培面積日本一、梅の栽培面積全国第4位、日本の花火&夏祭り百選に吉野川祭り納涼花火大会が選定、世界遺産に紀伊山地の霊場と参詣道が美しい日本の歴史的風土百選に認定されているなど、高い評価をいただいている。また、日本一を作る取組も併せて検討してまいりたい。

伊谷 市のシティプロモーション事業の今後の方向性について伺う。

市長 柿は毎年トップセールスとして、首相官邸をはじめ全国各所でPRしているが、今後は五條市出身の多くの著名人の協力を仰ぎ、本市の知名度とイメージ向上等シティプロモーションを展開してまいりたい。

その他の一般質問
1 道路行政について
①市道改修等に係る申請状況及び当該予算の公表について
2 既存事業の見直しによる新たな施策への取組について
①厳しい財政状況の中で時代のニーズに合った新たな事業に取り組むためのスクラップアンドビルドの必要性について
3 消費税増税に伴う地方の配分の見直しと有効活用について
①地方へ配分される交付金について
②市への影響について
③増税分を活用した福祉の充実について



(※1) マイ・タイムラインとは、台風や大雨の水害等、これからいつ起こるかわからない災害に対し、一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて「いつ」「誰が」「何を」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画のこと。

(※2) Robotic Process Automationの略で、AI等を取り入れた業務の自動化や効率化を図る取組全般を指す。

Q: ごみ分別の仕方等を記載した掲示ボードの作成について

A: A3版程度のものを来年度に向け設置できるよう検討してまいりたい。



山口耕司議員

ごみの収集について (収集カレンダーや分別の 周知について)

山口 集積場所のごみが未収集となる要因は、自治会未加入で収集カレンダーが届いていない、分別が理解できていない等あると思う。各集積場所に分別の仕方や収集日を記載した掲示ボードを作成してはどうか伺う。

産業環境部長 収集カレンダーは、自治会に依頼し全世帯に配布し、掲示ボードについては、A3版程度のものを来年度に向け設置できるよう検討してまいりたい。

(ごみ袋について)

山口 少子高齢化が進む中、所帯構造は、2人の家庭が多くなってきた。ごみを週に一度は出したが、小さい方の指定袋では満杯にならず、夏場はごみを1週間ため込むと異臭が立ち込めるため出しているが、もう少し小さな指定ごみ袋があれば助かるのと

市民の声がある。10ℓ程度の可燃物指定袋は作成できないかを伺う。

産業環境部長 現在、20ℓと45ℓの袋があるが、小さな袋を作って欲しいとの声を聞いている。今後、早い段階で導入できるように取り組んでまいり。

地域公共交通について (平成30年度の利用実績について)

山口 6月28日に開催された地域公共交通会議では、市民の多くの要望にこたえていただいたと思う。平成30年度利用実績について伺う。

市長公室長 ※1のとおりとなる。

山口 一人当たり運行経費の大きなバラつきをどう考えるかを伺う。

市長公室長

運行する地域の人口、主要施設等の立地、路線の距離等

(※1)

コース名	利用者数(人)	運行経費(万円)	一人当たり経費(円)
コミュニティバス 五條コース	44,503	1,859	418
(南奈良総合医療 センター通院ライン)	18,839	957	508
コミュニティバス 西吉野コース	1,207	429	3,553
コミュニティバス 大塔コース	968	487	5,031
デマンド型 乗合タクシー	11,974	2,185	2,517
デマンド型 コミュニティバス	1,937	444	2,293
市デマンド 交通実証運行	3,726	1,456	3,906
全路線	64,315	6,574	1,022

により差が出ている。目標を設定し、実績の検証を行い、運行内容の見直しや利用促進施策等対応している。今後、利便性と効率性を両立した地域公共交通網の確保・維持に取り組んでまいりたい。

山口 利用実績が少ないから廃止するのではなく、どのようにすれば利便性が向上する地域公共交通になるのか私も取り組んでまいり。

(1日フリー乗車券について)

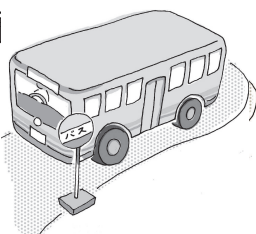
山口 安価な料金になる1日フリー乗車券は利用者増加につながる大変有効な施

策であると思うが、導入について伺う。

市長公室長 乗継負担軽減に向けた方策として、検討を進めている。

市が運行しているコミュニティバス、デマンド型乗合タクシー等で共通で使える1日乗車券を発行するもので、運用方法や金額設定について検討を進めている。導入に向け、乗車券の利用方法や販売方法について、利用者に分かりやすく、乗務員においても負担を抑えた運用が必要である。

道路運送法に基づき、近畿運輸局や各運行事業者と協議を進め、来年度中の運用開始を目的に取り組んでまいり。



その他の一般質問

- 1 老朽化する社会資本と将来を見据えたまちづくりについて
- 2 五條市スポーツ・文化合宿支援事業補助金について